

私片山晴奈には
結婚した旦那とは別に
大好きなおじ様がいます♡

今日はおじ様の命令で
旦那を連れて
おちんぼご奉仕隊として
おじ様の元に出動です♡

『おじ様♡
お久しぶりです♡
呼び出して貰えて
嬉しいです♡』

「はははwセイナちゃん♡
今日もおっぱいおっきいね♡」
「で…そちらが旦那さん？w」

「あっハイ♡
ちゃんと言われた通り
してきました♡
今日はよろしくお願いします♡」

「ほら…あなたも
ちゃんと挨拶しないと
失礼でしょ？
貴方の為に
おじ様が予約まで
してくれたのに…」

「よっ…
よろしくお願いします！」

「はいはいwよろしくねw
むしろこんな
イイ女抱かせてくれて
いつもありがとねw
ぶはははw『w』」

「えへへ♡今となつては
お互い様ですから…♡
おじ様♡
早くイキましよう♡♡」

「はははww
堪えられないのは
セイナの方かな？w
今日もたっぶり
可愛がってあげるからねw」
「も〜♡恥ずかしいです♡」

「はははw」

「はははw」

「えへへ♡お待たせ♡
どうかな?似合う?
今日のためのエロコス♡
おじ様を選んでくれたの♡」

「あなたも久々のお射精だから..
盛り上げるために...ね♡」

「はははw
中々こんな過激な衣装
旦那さんには
見せたことなかった
でしょ?w」

「今日も可愛いよ♡セイナ♡
いっっぱい子宮に
中出ししてあげるからね♡」

「えへへ♡♡
おじさま本当に意地悪♡」

「それじゃまず
旦那さんのソレ
取ってあげてw
もう勃起しちゃって
苦しそうだからww」

「えへへ♡よかったね♡
一か月ぶりに取れるね♡」

「ちゃんと管理してた?」

「はい♡♡」

「一回もとってません♡」

「最初はすっごく苦しそうで
可哀想だったんですけど...」

「今日の為にがんばるって
励ましてあげてました♡」

「はははw随分楽しみに
してたんだねw」

「ハイ!そうなんです♡」



「今日はね♡おじ様が日頃中出しセックスさせてくれるお礼に…」

「普段どんなふうに着こなすの？おまんこ使ってるか？実演して下さるんだって♡」

「あなたも今日はコレで私とセックスしてるつもりでお射精して良いからね♡」



「おっww旦那さん喜んでるよww」

「生で私のおっぱい見たの久々だもんね♡」



「それじゃ…ちょっと待ってね♡おじ様におちんちん勃たせて頂くからあ♡」

「おじ様あ♡今日はあ…夫婦共々お世話になります旦那の前ですけどお…おじ様おちんちんご奉仕隊2号セイナおマンコでいっぱいご奉仕いたしますのでえ…」

「デカケツダンスでおちんちんバキバキになりましたら挿入お願いいたしますう♡♡」

「はははwいい子だねセイナw」



ぐにゅ

ぐにゅ

『アレ』は
流石に…つうう♡』



「はははw
ほり見てごらんw
旦那さんめつちや
喜んでるよww」

「そろそろ出すから
いつもやってるアレ
旦那さんに
生で見せてあげなw」

びしょ



「オラっ!!!いからっ♡出すぞっ!!!
ザーメン喰らえマソ豚女あつ!!!」

ぐにゅ

たぷ

たぷ

びしょ

ぐにゅ

「ぶひよおおお♡♡
おおおおおお♡♡
出てりゅ出てりゅ♡♡
赤ちゃん作るとこに♡
あつあつザーメン♡
入ってきてりゅ♡♡
おっおっおっ♡♡
イグイグイグ♡♡
豚マンコ負けて
イグううう♡♡」

ぐにゅ

たぷ

「旦那さんに
もっといっぱい
オカズ提供して
あげようねw」
「はははww
いぞwwセイナ♡
膣奥うねらせて
精液搾り取れて
偉いぞ♡♡」

ギン
ギン
ギン

それからの
おじ様は
タガが外れた
お猿さんみたいなの
すっごい勢いの
セックスを
してきました♡

ギン
ギン



どっちゅ

すちゅ

おれが

ギン

はちゅ

初めて手に入れた
オ、オホにするみたいなの
何度も何度も…♡
ホントに
しつこく二番奥に
中出ししてきて♡
何度も気絶させられ
ちやいました♡

はちゅ

はちゅ

ギン

はちゅ

すちゅ

どっちゅ

はちゅ

おれが

すちゅ

首絞められて
イカされて
中出しされてを
永遠繰り返して♡
私のおマンコも
もう無理だよ♡
強強ちゃんぽ
もう降参だよ♡
って
いっぱいお潮吹いて
泣きっぱなしで…
もうホントに
大変でした♡



「はっ♡
じゃあ念願の
お射精タイム
だよー♡
よーく狙って
汚さない
ようにね♡」

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

ようやくおじ様の
気が済んだ頃には
もう丸二日
経ってて…♡

